



人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和6年12月13日

No.14



12月4日 大宮中学校人権意見発表会 & 講演会



人権のつどい



第1部 人権意見発表会の感想

(文章の一部は編集しています)

自分が生活している中で、人権の大切さを考える場面は多くあると感じた。でもその時思うだけじゃなく、今後自分がどう行動して行くかを考えて実際に行動することが大切だと思った。スマホは色々なことに便利だし自分の娯楽になるけど、その楽しいの裏で人権を傷つけるようなことが起きている事実をみんな知っているはずだ。だけどその行動を反省せず続けてしまう。それは自分の非を考えていないからだと思う。自分だけの感情に任せないで、相手の気持ちを考えて、他人との関わりを考えるべきだと思った。(3年)

普通なんてものはこの世界にはなくて、それぞれが思えば普通になるし、逆に普通だと思わなければずっとそう決めつけてしまったままにもなってしまうのかなと思った。でも、そんなことを起こさないためには人権を学ぶ授業をちゃんと聞いて、自分で考えることも大切だと思った。これから色々な所で人権のことを学ぶと思うけど、学んで、日常へ生かし、振り返っていくことが大切だと思った。(2年)

4人の人権作文を聞いて、自分にとって当たり前のことでも誰かを傷つけているかもしれないし、自分ならどうするかと自分事として考えることができた。

まず、自分たちに何ができるかを考えた。(1年)

各学年の発表を聞き、これから人とどのように関わるべきなのか、私たちができることは何かを学んだ。発表の中で「私たちはその人の気持ちを想像することしかできない。でも気持ちを想像することは大切だ。」と言って、その通りだなと思った。だから、私も気持ちを考えてその人が嬉しいと感じることができるといいなと考えた。また、今回の人権意見発表会や今までの人権学習を通して人権とは何か、みんなが暮らしやすい共生社会にするためにどんなことをすればいいかを学びました。(3年)



自分の普通が相手にとったら、「なんか違うなあ」とか「変だなあ」となるかもしれない。そこで何が普通なのか。これを問われたら、普通はないのかもしれない。だから、十人十色、みんな違ってみんないい。これを意識していきたいと思った。(1年)

同じ内容の学習をした仲間でも、考え方や捉え方、見方が全然違って、自分の今までの行動を振り返る良い機会になった。

“普通とは”もう一度自分にも問いかけてみたい。そして、みんなにも考えてほしい。その人それぞれの意見があるということが普通・当たり前のこととして認識することが大切だと考えた。(3年)

「多数派が普通、少数派が普通ではない」とだいたいの方が思っているけどそれは違って、一人ひとりの意見を聞くことが大切だと思った。だから普通など存在しないと感じた。

SNSでの誹謗中傷が見られることがたくさんあるけど、顔も分からない人に悪口を言われるのはとても怖いと思った。たった一つの意見でも感じ方はそれぞれ違う。とても傷ついてしまう人もいるから、誹謗中傷は絶対してはいけない。(2年)

発表を聞いて、色々な場面で人権の大切さが感じられた。まずは自分の発言や行動に気を付けることが大切だと思った。何を言ってもいいわけではないから、そこをしっかりと区別して、発言や行動をしていきたいし、そこを考えられるような人が増えるといいなと思った。(1年)



人の気持ちは見えない。言葉になって初めて伝わるが、言葉にする前にも考えて、自分が見える・気付ける気持ちを大事にしたい。

ネット上では悲しいニュースが後を絶たず、偏見がなくなる社会である。その人を思うことがどれだけ大切か、それを考える機会になりとても良かった。特に興味を持ったのは、宇宙人と地球人の「当たり前」。どちらも相手の当たり前を知らない中で悲しんだり、他人を思いやったりすることは大切だと思うのに、その気遣いが良いと感じられなかった。それが人権学習で学んだことだと思った。SNSでの悪意あるメッセージや書き込みはダメだけれど、それぞれの当たり前は悪いことではないから、それぞれの当たり前を知っていききたい。(1年)

私自身も「それはダメでしょ…」とか「なぜこんなことをするのだろう…」と思う出来事があって、例えば誹謗中傷などの匿名による攻撃的な言葉に、いつも私は気分を悪くしながら「いつまで経ってもこういうのはなくなるんだらうな」と心から残念に思っていた。だから同じ思いの人がいて内心ホッとした。

2年生の発表に「守る人に、守られる人になる」とあったが、そういう考えがもっと広がってほしいなと思う。(2年)

みなさんの感想を読むと、発表をしっかりと聞き、多くの気づきや学びがあったようでとても嬉しく思います。

今回は第二部の感想特集です!